



# 起業家・スタートアップ交流ラボ2024

9月29日、秋田市文化創造館にて「起業家・スタートアップ交流ラボ2024」が開催された。開会にあたり、当センター理事長妹尾明より「前身である『起業家交流フェスタ』から数え、今年で9回目となります。昨年からスタートアップへの挑戦ということをコンセプトテーマに掲げ、スケールアップしました。今年は初めての日曜日開催ということもあり、近隣イベントとの相乗効果による、より一層の交流と賑わいを目指しています。この機会を積極的に活用していただき、

ビジネスの発展の契機となれば幸いです」と挨拶があった。開会式終了後、活躍中の先輩起業家を表彰する「秋田県先輩起業家表彰式」、ゲスト起業家による「起業家トークセッション」が行われたほか、会場では新規起業家や、現在起業準備中の方々による展示販売ブース、秋田イノベーションプログラムの出展ブースや、屋外ではキッチンカー＆グルメ提供ブースが設けられるなど、多くの来場者で賑わいを見せていた。

## 1 さまざまな事業者が参加した 出展ブース

「秋田市文化創造館」2階では起業家および起業準備を行う方々による展示販売、1階には秋田イノベーションプログラム「ASHIOTO」に参画する若者たちによるブースや、参加型ワークショップを行うブース、屋外ではキッチンカーなども参加し、総勢31のブースが会場を盛り上げた。



## 参加者の声

### 3Dプリント商品・stemキットなど

**Pragmodel**  
**長谷山 直飛さん(由利本荘市)**

秋田県立大学3年の長谷山直飛さんが代表を務める「Pragmodel」。大学で学んだことを活かし、3Dプリンタでの商品の製造や販売事業、プログラミングや電子工作といった技術系分野の教育「stem教育」に関する事業を行っている。農家に生まれ、農業や農業機械などへの興味と、経営への興味を持っていた長谷山さん。「大学でインプットしたことを、事業という形でアウトプットしてみたい。幅広く、自分が生み出せるサービスを提供していくたいと思います。」



### 着物レンタル・着付け(レッスン・買取)

**笹パンダ堂**  
**仲澤 有香さん(秋田市)**

旅行で鎌倉を訪れた際、着物姿で街歩きができるサービスがあることを知り、秋田でサービス提供をしたいと考えていた仲澤さん。観光客以外にも着物を着る楽しみを提供したいと考えている。

「祖母が和裁をしていたので着物は身近なものでした。普段から気軽に着物を着て出かけられるお手伝いをしたいと起業に至りました。現在は出張着付けが基本ですが、着付けレッスンや買取も行っています。今後は実店舗を設けてサービス提供を目指していきたいですね。」

E-mail: sasapandado@gmail.com URL: <https://sasapandado.com/>

TEL.080-7687-3977 E-mail: naotohaseyama810@gmail.com



## 2 秋田県のスタートアップ創出 「起業家トークセッション」

トークセッションのテーマは「ソーシャルグッドな秋田のゲスト起業家」。ファイオン株式会社の代表取締役であるマティログ氏がファシリテーターを務め、ゲスト起業家として株式会社TOMUSHIの代表取締役CEOである石田陽佑氏、株式会社エーの代表取締役である阿部円香氏が登壇。それぞれの事業についてのピッチを行った上で、いくつかのテーマについてトークセッションを行った。

「地球にやさしい未来」というビジョンを掲げる(株)TOMUSHIの石田さんは、有機廃棄物に価値を生み、新たな資源へと循環させる事業を行っており、(株)エーの阿部さんは、横手市十文字町で宿泊、お酒、醸造といったキーワードに関連した3つの場を生み出している。それらの起業に至る経緯やターニングポイントで感じたこと、大切にしていることについて忌憚のないトークが展開され、会場では熱心に耳を傾ける来場者の姿が見受けられた。



先輩起業家に学ぶ！

## 先輩起業家表彰

2 1 3



妹尾理事長 株式会社ツバサ 斎藤 真氏 石川産業労働部長

同日、秋田県による「先輩起業家表彰」も実施された。この表彰は、地域の雇用や経済に大きく貢献している起業家を表彰するもので、ロールモデルとして広く発信するとともに、若年層の起業家意識の醸成を図ることを目的としている。今年度は株式会社ツバサの代表取締役斎藤真氏が表彰を受けた。秋田県の石川定人産業労働部長は「地方の可能性をカタチにするというキーワードのもと、今年で12年を迎えている企業であり、多様な地域資源を活用した商品開発を行い、地域商社として県産品の魅力を広く発信している。地域経済の活性化を目指した事業に取り組まれ、創業時から安定した成長を続けています」とし、今後も企業支援に加え、スタートアップの創出や成長をサポートする取り組みにも着手したいと語った。



## 受賞スピーチ

株式会社 ツバサ  
代表取締役 斎藤 真 氏



本日はこのような賞をいただき、身に余る思いです。弊社は2013年に創業し、今期で12期目を迎えています。事業は2つあり、ひとつはクリエイティブ事業、もう一つは商品開発事業で、合わせて20名在籍しています。また、グループ会社としてECを専門にしたノースコマース株式会社、4月から道の駅てんのうを運営している「株式会社かたがみクラブ」も含め、総勢70名とともに秋田で地域ビジネスに取り組んでいます。

起業というのは思い切らないとできないことです。雇われるという身を断ち、自分が志す事業で世の中に商品やサービスを提供していく。強い思い、志、なけなしの資金。そして時には金融機関から融資を受けて勝負していかなくてはなりません。立ち上げることも、維持していくことも大変です。秋田には課題が多い。だからこそビジネスは生まれます。みんなが頑張ればいい方向に行けると思います。みんなで頑張っていきましょう！